ナイス福岡 会報
自然感
くすのき
2023年1月
第330号

新年を迎え、おめでとうございます。今年も身の回りの自然環境に気を配りつつ、その自然を楽しめたらと思います。身の回りの生きものも少しずつですが、変化していると感じています。皆さんの周辺ではどうですか。 ナイス福岡 田村耕作

○日当たりの良い地面では、植物たちが懸命に太陽のエネルギーを得ようと葉を拡げています。そんな中、小鳥も食べ物探しに余念がありません。aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
（NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka）
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作･山本勝･松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島３丁目７番14号
田村の自宅内 TEL ：090-8220－6160
URL：http://www.kurabird.com/
掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（135回）

日時１月２１日（土）10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作
TEL 090－8220－6160〔田村の携帯〕

注意　各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大や様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部　主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

１月１５日（日）２月１９日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時　間：9:00～12:00
集　合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松）

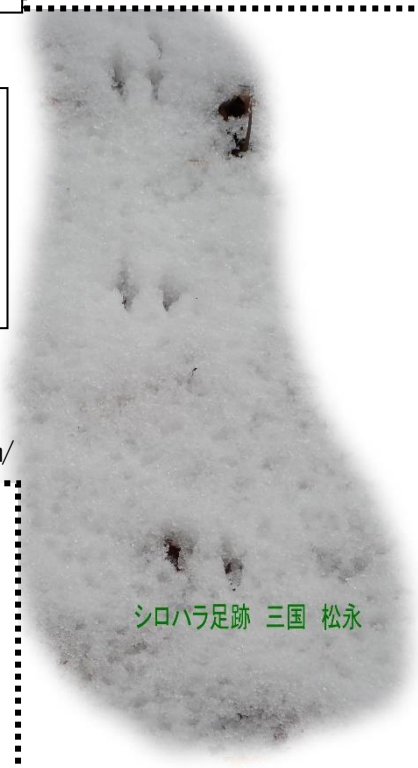
１月２２日（日）２月２６日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時　間：9:00～12:00
集　合：久末ダム多目的広場横
　　駐車場　（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

２月５日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時　間：9:00～12：00
集　合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

２月１１日（土）
大濠公園（福岡市）
時　間：9:00～12:00
集　合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

２月１２日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時　間：9:00～12:00
集　合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

２月７日（火）
県営春日公園（春日市）
時　間：10:00～12:00
集　合：音楽堂ステージ側（第５Ｐ）
問合せ：092-592-3423（小野仁）


シロハラ足跡　三国　松永

日本野鳥の会 筑後支部

１月２９日（日）
久留米城址　～　筑後川
時　間：　9：00～12：00
集　合：河川敷駐車場
問合せ：090-4357-3043
　　（溝田泰博）

福岡植物友の会

問合せ：佃　昇（092-662-2983）
参加は有料　要予約

久留米の自然を守る会

お問い合わせください。
（0942-43-7959）河内俊英

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/

２月４日（土）
集　合：九州歴史資料館
　　第１駐車場
時　間：9:30～12:00
　　（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ　「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
　　検索
観察会や様々な生きもの情報を載せています

トモエガモシルエット　三国　松永

三国丘陵の自然を楽しむ会　観察の様子

和白干潟を守る会

１月２８日（土）
定例会議
時　間：12：00～14：00
集　合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

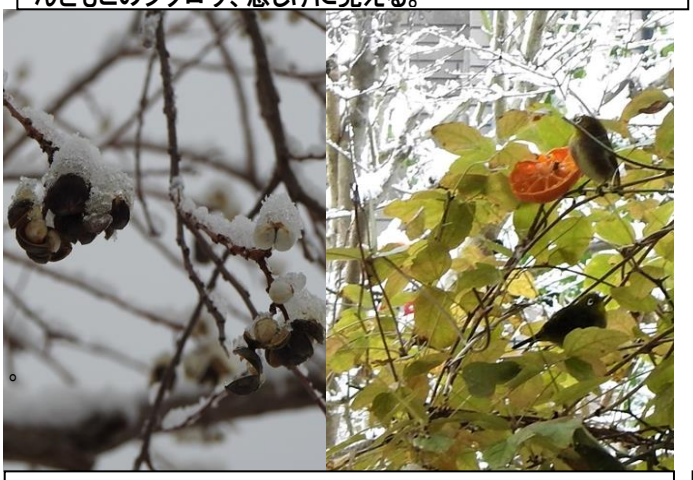
１月２８日（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時　間：15：00～17：00
集　合：海の広場　駐車場なし
　　長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

２０２２年１２月
私のデジカメ日誌より

今回は、12月1日(旧暦11月8日)～12月31日(旧暦12月9日)までのデジカメ日誌です。(文・写真　本のむし)

12月8日(旧暦11月15日)　筑紫野市天拝坂
町内の街路樹ヤマモモ。おや、こんなところにフクロウが‥。樹胴から顔を覗かせているように見えた。横枝の切跡でした。81年前の開戦の日の今日、昨今の世界を考えると、なんともこのフクロウ、悲しげに見える。

12月9日(旧暦11月16日)　　筑紫野市天拝坂
玄関わきの小石をどけたら、ワラジムシ。指で触れても丸まらず、寒さのせいかゆっくり動き出した。本当はもっとすばしこい。このワラジムシ、外来か？在来か？今ひとつ解らない。



12月8日(旧暦11月15日)　筑紫野市天拝坂
ここらで、4cm の積雪は大雪だ。ナンキンハゼの実は、今日は静か。いつもはジョウビタキやヒヨドリ等にぎやかなのに。軒下にしつらえた冬のえさ場はメジロが動かない。

12月19日(旧暦11月26日)　太宰府市都府楼南
水浴び中のハシブトガラス。昼間とはいえ、外気6℃。風は微風。それでも気持ちよさそうだ。日差しがあるので、羽の構造色が緑や青に輝いて美しい。

12月26日(旧暦12月4日)　筑紫野市搭原南
この池に絶滅危惧Ⅱ類のトモエガモが入ったのは初めて観た。しかも17羽の群れ。この写真の手前のオスは、顔模様がずっと黒っぽく、家内は別種？と興奮したと言っていた。羽の構造色の光の当たり方だと思うけど‥‥。

12月30日(旧暦12月8日)　筑紫野市天拝坂
天文フアンが「月面 X」と呼ぶ現象を撮影した。上弦の月の時、年に数回見られるようで、今回は20:30が最適時だったが雲に隠れたので、写真は19:34のもの。三つのクレーターの外壁への光の当たり方だそうだ。

春日公園自然観察会　令和４年12月17日（土）【参加者数】２人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。
観察内容　小雨がふっていました。参加者の目線で気になる生きものを、色々な初冬の景色を感じながら観察しました。
植物　ドウダンツツジ、ウメ、イスノキ、トサミズキ、ヒマラヤスギ、ビヨウヤナギ、ハマヒサカキ、イロハカエデ、モミジバフウ、タイワンフウ、ノキシノブ、サンシュユ、サルスベリ、トウカエデ、アセビ、ネジキ、マンリョウ、ハクサンボク、レンギョウ。
野鳥　マガモ、ホシハジロ、コサギ、カワウ、メジロ、ハクセキレイ、キジバト、スズメ、ジョウビタキ、ツグミ、シロハラ、ウグイス、アオジ、エナガ（群れ）、ヤマガラ、シジユウカラ、アトリ（群れ）、カワラヒワ、イカル、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル。

感想（参加者の声）

- ヒマラヤスギの球菓の果鱗がバラバラに落ちていたことが、同じような松ぼっくりとの違いがあり、面白かった。
- 冬芽のトサミズキ、サンシュユ、ハクサンボク、ネジキ、スズカケノキを確認できた。
- 同じフウでありながら、すべて落葉した木、しっかり紅葉し落葉していない木があり、なぜなのか考えつつ、その様子を楽しんだ。
- アセビはたくさんの蕾を付けていた。早春の花が楽しみ。

観察会を開始する風景

赤い葉と緑の葉を楽しむ

もう膨らんだ梅の蕾

ヒマラヤスギ球果の果鱗

トサミズキの実と冬芽

集まった雨粒

咲き始めたレンギョウ初冬、

樹木のヒゲのようなノキシノブ

紅葉を残したタイワンフウ

野鳥も観察：　自然風庭園の池で見かけたホシハジロ♂　落ち葉の中で食べもの探ししていたアトリ（群れの中の１羽）

集まって休息するキジバトの群れ

低木の植え込みで見かけたアオジ

会員からの投稿　田村耕作

福岡市城南区には、樹木の多い墓地、多分農業用ため池を治水目的に変えて緑地公園、標高597mの油山から流れ出る樋井川（約13ｋｍ）があります。そこに住み始めてそろそろ３０年です。月に１回位は自宅の周辺を散策しています。私にとって、最近目立つようになった生きもの（植物）、特にヒメツルソバ（タデ科）、オオキバナカタバミ（カタバミ科）、ヤナギバルイラソウ（キツネノマゴ科）、アレチハナガサ（クマツヅラ科）等です。樋井川で見かけるのです。多分、樋井川の流域で育てられた植物が、育つ中で、種子が雨水と共に川に流れ込み、樋井川の川原で発芽し、増えてきたと思っています。

これらの種が育っている場所には、以前どんな植物が生えていたのでしょうか。目立つようになった帰化植物が生育してい

ヒメツルソバ（タデ科）　樋井川にて

ヤナギバルイラソウ（キツネノマゴ科）　樋井川にて

る場所には、在来の種が生育していたと思うのですが。
同じような地形で、大きく変わらないように見えても、その地で生きている生きもの、特に植物は、人の目に見えてどんどん変化しているということです。植物が変化しているということは、その植物に依存している昆虫や野鳥も変化しているのでしょうか。多分、私の気が付かない程度の変化が進行中かな。このことは、長い目で見て、人のくらしにどんな影響が、プラスなのかマイナスなのか。
　会員の皆様の周りでは、いかがですか。
　樋井川で最近見かけた植物に、フウセントウワタがあります。庭先では見かけていました。

オオキバナカタバミ（カタバミ科）　樋井川にて

フウセントウワタ（キョウチクトウ科）

事務局からのお知らせ

会費振込について

会計年度は６月から翌年５月末までです。会員の皆様、２０２２年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000円　　郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

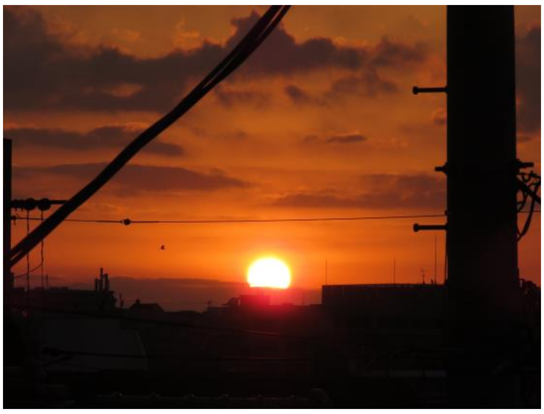
定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、**令和５年２月１０日（金）午後２時**より事務局で行います。令和５年２月号の原稿は、2/7（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆◆

編集後記

2022年12月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。
　新しい年の初日の出を自宅そばで迎えた。前年までは、東側が見通せる油山、三日月山、志賀島、能古島等で初日の出を迎えていた。コロナ陽性者数が増加傾向にある中、あまり移動せずに済むようにと、年末に検討していました。幸い自宅近くで、東方向で障害物無しで、初日の出を迎えて幸運でした。写真の太陽左の黒い点はアオサギが飛んでいるのです。
　初日の出とともに好きな飛翔する野鳥を写せた。何かいいことあるような２０２３年で有って欲しいですね。



２０２３年1/1　撮影：田村耕作
福岡市城南区　標高20mにて